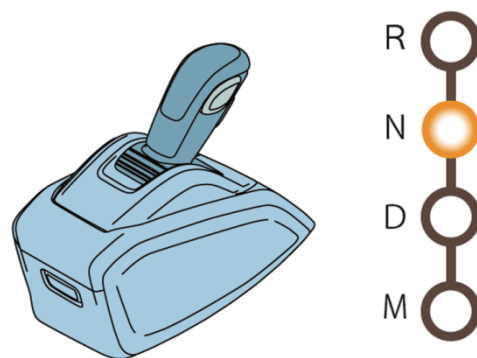


## ESCOT-VI トランスミッションの操作について

大型車クオンに搭載のESCOT-VIトランスミッション(電子制御機械式自動変速機)をご使用のお客様へのお願い。

走行中にシフトレバーを手動で“N”(ニュートラル)位置に固定して惰性走行すると、トランスミッション内を潤滑するオイルを圧送するポンプの回転が低下し、潤滑不足を起こす場合があるため、トランスミッション内の主要部品(ベアリング等)が損傷し、最終的に重大故障に至る可能性があります。

シフトレバーの手動操作によるニュートラル走行は危険ですので、絶対にしないでください。また、トランスミッションの故障の原因にもなります。



また、マニュアルトランスミッションにおいても、クラッチを切った状態や、シフトレバーをニュートラルの状態にしたままで下り坂を走行しないでください。

潤滑不足によりトランスミッションのメインシャフトとベアリングが損傷を受け交換修理が必要となった例



※ESCOTロール機能によるニュートラル走行時は、トランスミッション制御コンピュータによって潤滑不足にならないように制御されていますので、ご安心してお使いいただけます。

※ESCOTロール作動時は、コンビメーター内のセグメントディスプレイのギヤ位置インジケータに“N”を表示するとともに、マルチディスプレイモニターに“ESCOT ROLL”のランプが表示されます。

### おことわり

取扱説明書記載内容と異なる運転操作により生じた故障・事故については保証の対象になりませんのでご注意ください。